

魅力ある学校づくり協議会(板橋第九小・ 中根橋小・板橋第一小) ニュース

第11号

発行日：平成 28 年 1 月 12 日
開催日：平成 27 年 12 月 21 日
発行：板橋区教育委員会事務局
新しい学校づくり課
学校配置調整担当課長
電話 3579-2090

第 11 回協議会内容

第 11 回協議会は、「魅力ある学校づくり協議会における基本的な考え方（協議会ニュース第 9 号参照）に基づき、主に統合年度や統合校等について、意見交換を行いました。第 12 回協議会では、今回の意見交換を反映した「中間のまとめ」について意見交換を重ねていく予定です。

1. 第 10 回協議会での意見交換（まとめ）について
2. 教職員の配置について
3. 教育委員会から提案することに至った経緯について
4. 統合年度統合校等に関する提案について
- 5 意見交換

1.事務局からの報告事項について

◎板橋区教育委員会教育長あてに請願書が提出されました。1 件は、「板橋区立板橋第九小学校を適正規模に回復するための取り組みによる学校の存続を請願」するもので、12 月 18 日に提出されました。このほか、「板橋区立板橋第九小学校の学校長が閉校まで在籍されることを請願」も提出されましたが、こちらは、人事案件でもあり、請願を提出された方と話し合った結果、請願ではなく、要望として受領しました。

2.「統合年度」「統合校」等に関する提案について

(1)「統合年度」について

平成 29 年度末（平成 30 年 3 月）とする。

【理由】◎児童・保護者・PTA等の交流事業の計画的な実施が可能である。◎教職員等の人的配置について、より効果的な配慮が可能である。◎閉校式・統合式・記念誌の作成や記念室の設置など統合へ向けた準備に時間がかけられる。◎複式学級が発生するリスクが少ない。

(2)「統合校」について

板橋第一小とする。

【理由】◎歴史的経緯（板橋第九小は、板橋第一小・板橋第六小・板橋第八小から分かれて設立された学校である。（昭和 24 年））◎学校施設面（板橋第一小は、平成 25 年に改築を終えており、メディアセンターや ICT を始め求められる新しい機能を備えた学校である。現在板橋第一小は 13 学級であるが、工事等手を加えずに 18 学級まで受入れが可能である。）◎運動場面積（仮に板橋第九小の児童が全て板橋第一小に通学することになっても文部科学省の設置基準を満たすことができる。）◎児童・地域・保護者の交流（板橋第九小・板橋第一小ともに青少年健全育成仲宿地区委員会（仲宿地域センター管内）の区域である。学校距離間も 300m と近く、保育園・幼稚園、スポーツクラブ等が同じ児童が多く、児童相互の交流が行われている。）

(3) その他について

①統合方式等について

統合（合流）とし、板橋第一小の校歌・校章等は変更しない方向性で検討する。

【理由】◎板橋第九小は、板橋区で一番古く歴史と伝統がある板橋第一小から分かれて設立された歴史的経緯を踏まえる。

②地域の交流に合わせた通学区域の設定について

板橋第九小の統合後の新たな通学区域については、統合校に全て変更するのではなく、青少年健全育成地区委員会や町会・自治会の区域と通学路の安全に配慮しつつ中根橋小、板橋第八小、弥生小など通学区域が近隣の周辺校へ変更していく。

③統合校以外への通学について

板橋第九小の子ども達は、基本的には統合年に板橋第一小へ通学することになるが、通学距離や教育的な配慮等により、中根橋小を始め近隣校への通学を希望する場合は、通学できるように配慮する。また、これから入学する未就学児の児童についても同様の配慮とする。

(4) 「統合年度」「統合校」「統合方式」決定にあたっての留意事項について

①板橋第九小の歴史・伝統の保存

◎板橋第九小の歴史と伝統を保存するため、板橋第一小に記念室（コーナー）を設置する。◎必要に応じて記念誌の作成を行う。◎板橋第九小にゆかりのあるもので、移設可能なものがあれば移設を検討する。◎板橋第九小の文化や風土で継承して行くことができるものがあるか検討していく。

②交流事業の実施

◎統合年に向けて交流事業を実施する際は、統合校である板橋第一小だけではなく中根橋小においても同様に実施する。また、その他の近隣校との交流事業を実施する必要がある場合は、併せて検討していく。

③人的配置について

◎人的配置については、統合校である板橋第一小だけではなく、中根橋小も含めて配慮を検討する。また、必要に応じて、その他の近隣校への配慮も併せて検討していく。

3.意見交換

委員：委員の皆さんは、それぞれの立場で子どもたちや地域の事を思い、自分の考えを発言されているかと思えます。私も座る位置（立場）が違っていたら発言していた内容も変わっていたと思えます。協議会の委員というのは、とても重い責任があると思えます。これまでの10回の協議を経て今回出された提案であり、これ以上結論を先延ばしすると一番大切な子ども達や保護者の方々を不安にさせるだけではないかと思えます。平成29年度末に統合といったことも非常に良い結論だと思いますし、この提案にそって事務局でまとめていただきたいと思います。

委員：板橋第九小保護者の方から、今まで手厚く教育を受けてきたので、統合先の学校に変わっても悲しい思いをさせないようにしてほしいとの意見をいただきました。方針は決まったので異存はありませんが、このような意見がある事も踏まえて苦情が無いようお願いいたします。

委員：今回の提案ですが、私個人としては、これまでの協議を踏まえた結果だと思います。これ以上の提案は難しいのではないかと思います。後、3回ありますので、もう少し具体的な事を協議委員の方々と話し合っていきたいと思えます。最後にこれだけはお願いしたいのですが、板橋第九小の子ども達が希望すれば近隣のどの小学校にも通学できるように配慮していただくようお願いいたします。

委員：第10回協議会での意見交換の中で、6名の委員の方が、平成29年度末（平成30年3月）が良いのではないかと具体的な発言をされておりました。今後も、このように一つ一つまとめていっていただく形が議事の進行としては良いのではないかと思います。

委員：できれば板橋第九小が閉校しない様にと考えてこれまで発言をしてきました。こうして具体的に統合年度が明示されるともう少し長くできないかとも思えますが、複式学級の発生リスクが高まってしまうことも理解しております。できれば、もう1年長くしていただくように配慮をしていただきたいと思います。

委員：私は存続を望むというスタンスで当初からやっています。今回、平成29年度末という提案が出てきましたが、もう1年、もう2年延ばせればと思っています。それは、現3年生は7名しかおらず、他の学校で卒業となると、馴染めるのか心配なので板橋第九小で卒業させてあげたいです。板橋第一小は気持ち良く受け入れていただけるとのことで、ありがたく思っております。中根橋小も板橋第一小に行けない子どもを受け入れてくれるとのことで、ありがたく思っております。これからの事については、私はプロではないので、教育委員会側に任せるしかないと考えます。子どもたちのためによりしくお願いいたします。

委員：板橋第一小の校長先生を始め、PTAの方々が板橋第九小の受け入れに対して、好意的な発言をいただき本当にありがとうございます。個人的にも受け入れに対して友好的な意見をいただける学校に、板橋第九小の大切な児童を預ける方が安心なのではないかと思いました。

委員：資料を見て、あまりにも具体的でとても分かりやすい内容だったので、改めて統合を実感して寂しく思いました。大山小のようにクラス替えのタイミングで、統合前に徐々に児童が減ってしまう事がないように、事務局がなるべく早目に、全家庭の保護者と面談あるいは聞き取りを行っていただき、クラス替えのタイミングを理由に前倒しで転校することがないようにしていただきたいです。例えば、統合先の学校で、その年は全学年クラス替えを行っていただくよう学校側に要請する等の配慮をいただければと思います。なるべく児童が散らばらないように同じ年に統合出来ることが、数少ない板橋第九小の先生の再配置にもメリットがあるのではないかと思います。

委員：私は最初から統廃合には賛成の立場でしたので、提案を拝見して、やっとスタートに持っていけるのだと感じています。統合する平成30年度からは多くの学校で設置基準を満たした、環境の整った環境で学べるような方針で進めていただくようお願いいたします。

委員：大山小の閉校に関わった保護者に話を伺いました。例えば使う楽器が違う、下駄箱の位置が違う、実験のやり方が違う等、大人が気付かないような些細なことでも、子どもは混乱してしまうそうです。大人の意見を聞きすぎるあまり、子どもが1つの学校に通えずばらばらになると、教職員の転校先への配置もできず、相談できる顔見知りの大人もいなくなり、子どもが早くから孤立感、無力感を感じ不登校の原因にもつながるそうです。板橋第九小の子どもや保護者は、今でもこんなに良い学校をなくなってしまうことを、本当に胸を痛めています。教育委員会から方向性が出た今、皆さんには板橋第九小の児童、保護者の立場に立った配慮ある発案をお願いしたいと思います。

委員：今回の提案ですが、これまでの協議を踏まえたものであり、満足しております。先ほど、委員の方からも保護者の方の心のケアもしていくべきではないかとの意見もありましたので、その部分を追加していただければと思います。第1回協議会から板橋第一小は大変素晴らしい綺麗な学校ですので、出来るだけ沢山の方に来ていただいて、実際に施設を利用したり、子ども達と会っていただければ、板橋第一小の良さを理解して頂けるのではないかと思います。

委員：第10回協議会での意見交換を踏まえて今回の提案だと思いますので、私も賛成です。ただ、時期については、先ほど2年から3年、4年から5年といったクラス替えのタイミングの話もあったので、もう少し板橋第九小の保護者の方の意見を聞いてみてはどうかと思います。

委員：4月からPTA会長をしておりますが、その職責の重さに身を引き締めております。私も、板橋第九小の子ども達にぜひ来てほしいと思っております。入学式の挨拶で「よその子もうちの子」と話しました。今は、自分の子どもしか考えていない親がいる中で、地域子どもたちに対しても、自分の子どものように叱ったりほめたりすることが大切だと思います。そういう意味でも、板橋第一小に板橋第九小の子ども達を受け入れることは、自分の考え方にも合っていることだと思います。私も板橋第九小の会長の立場であれば、同じようにしていたと思いますし、PTA会長、役員の方々の遣り切れなさが痛いほどわかります。私達もそういった気持ちを大切にしながら、一緒に行動していきたいと思っております。

委員：今回の提案についてですが、これで進めていって頂ければと思います。青少年健全育成仲町地区委員会の役員をしておりますが、先日、中板橋町会の運動会があり、板橋第九小の親子に参加して頂きました。いろんな競技に参加して頂き、何の違和感もなく楽しそうに1日を過ごしておりました。今回、板橋第一小との統合となっておりますが、教育委員会の方で、個々の事情をよく確認して頂き、中根橋小を希望される方がいれば、中根橋小・中板橋町会・仲町青健と仲良くさせていただきたいと思っております。

委員：これまで十分協議を重ね、全てが良い結論は得られないとは思いますが、大岡裁きではないですが、今後の内容については、この提案を基盤として保護者の方々に納得していただくように説明をしていくべきだと思います。また、早急にこの提案を決定事項として解決をしてくようお願いいたします。子ども達は、順応性が高いので直ぐに溶け込めるかもしれません。子ども達は保護者の背中を見て育ちますので、早急に結論を出して保護者の方が、誤解しない様にさせていただくことが大切だと思います。

委員：この提案に賛成です。今後、子ども達のケアも大切だと思いますが、保護者の方々のケアも大切だと思います。保護者と子ども達が参加できるような交流事業を考えていきたいと思っております。中根橋小を希望されるご家庭については、スムーズに打ち解けるように配慮していきたいと思っております。

委員：今回の提案に賛成です。前回は話しましたが、統合校以外の学校にも行けるように最大限配慮していただければと思います。もし、中根橋小を希望されるお子さんがいれば、子どもは保護者の意見に左右される面もあるので、私達保護者が、板橋第九小の子ども達がスムーズに中根橋小に溶け込めるような取り組みを学校の先生方と協力していきたいと思います。

委員：板橋第九小PTA役員の方のご心痛を察して胸が痛みました。また、今回の決断も苦渋の決断だったと思います。中根橋小PTAや板橋第一小PTAでは、板橋区の子ども達のために様々な活動をしています。今後、子ども達がスムーズな新しい学校に取り組めるように教育委員会をお願いしたいと思います。

委員：これまでの11回の協議を経た最善の提案であるということを保護者全員に理解していただければならない大変重い責任が与えられたと思っています。子ども達は、言葉だけでは理解できない部分もあります。肌で感じるというか体験を通して心と体で理解を深めるので、そういった交流事業を実施していきたいと思います。最後の閉校の時に子ども達が希望を持って行けるようにしていきたいと思います。是非、近隣の小学校・地域の方々にも協力していただければと思います。

委員：今回の提案は具体的な提案であり、この提案が決定されれば、その提案に従っていきたいと思っています。先ほど、いじめや苦情がないようにとの意見がありました。学校長として非常に重く受けとめ、子ども達が豊かな人間関係を作れる環境にしていかなければならないと強く思いました。

委員：先日、外国籍の子ども達のスピーチコンテストがありました。板橋第一小の児童が司会進行を努めましたが、外国籍の子ども達と合った瞬間に仲良く遊んでおりました。子ども達は、例え国籍が違い、言葉が通じなくても遊びを通して仲良くすることができる特別な才能を持っています。逆に大人の方が、そういった才能が少なくなってきましたので、保護者同士が交流できる機会を作りたいと思います。

委員：教育委員会事務局次長です。板橋第九小の保護者の方々には苦渋の決断であったと思っております。補足をさせていただくと、東京都では、1年生と6年生を除き、5人以下学年が連続した場合に複式学級となりますので、組合せとしては、2年生と3年生、3年生と4年生、4年生と5年生の3つの組み合わせとなります。板橋第九小の平成28年度新一年生の入学予定者数から考えると今回提案した平成29年度末に学校統合する場合は、複式学級は発生しないのではないかと考えております。ただ、在校生の方々が、統合前に転校する事により、複式学級が発生してしまう可能性がありますので、ご提案いただいた対策を踏まえて学校側と話し合っていきたいと思います。保護者の方々に対する心のケアについても、ご意見をいただきましたので、こちらも児童の心のケアはもちろんですが、保護者の方々の心のケアについても具体的な対応を考えていきたいと思っています。本日、多くの委員の方から、この提案の方向性で進めることについてご理解を示す発言をいただきましたので、教育委員の方々にも協議の内容を報告させていただきます。また、更に配慮すべきところについてもご提案をいただきましたので、今後検討していきたいと思っています。

会長：本日、出席した全ての委員の方にご意見をいただくことができました。今回の意見交換の内容、これまでの協議会で出された意見、本日の教育委員会からの提案を踏まえ、これまでの「中間のまとめ」を行っていききたいと思います。次回の協議会では、事務局がまとめた「中間のまとめ」について意見交換を実施していきたいと思っています。

今後の予定

・第12回 平成28年1月25日(月)午後6時00分から午後7時30分まで

・第13回 平成28年2月25日(木)午後6時00分から午後7時30分まで

※何れも会場は、板橋第一小いちょうホール ※月に1回程度開催する予定です。

※協議会の会則・協議会ニュース、次回の日程等は、区ホームページからご覧いただけます。また、ご意見やご要望がある方は、下記までお願いいたします。

発行元 板橋区教育委員会事務局 新しい学校づくり課 学校配置調整第二グループ

電話 3579-2090 FAX 3579-4214 E-mail ky-tekisei2@city.itabashi.tokyo.jp

ホームページ http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/067/067580.html